

大方廣佛華嚴經卷第一  
東晉天竺三藏佛跋闍羅譯

世間淨眼品第一之一

如是既聞一時佛在摩竭提國祇洹道場始  
成正覺其地金剛具足嚴淨眾寶離華以為  
莊飾上妙寶輪圓滿清淨元量妙色種種莊  
嚴猶如大海寶幢幡蓋光明照曜妙莊華鬘  
周匝圓遠七寶羅網細絛覆其上而元盡寶顯  
現自在諸離寶樹華葉光茂佛神力故令此  
場地廣增嚴淨光明普照一切奇特妙寶積  
聚元量善報莊嚴道場其菩提樹高顯殊特  
清淨瑠璃以為其幹妙寶枝條莊嚴清淨寶



写経 青山杉雨／見返し絵 東山魁夷

淨彼功德藏攝彼功德藏出生長養彼功德  
藏力漸漸遊行至於彼城周迴推求長者法  
寶周難於道遇見頭面禮足合掌恭敬於一  
面住白言大聖我已先數阿耨多羅三藐三  
菩提心而未知菩薩云何學菩薩行修菩薩  
道時彼長者執善財手將歸其家善男子且  
觀我家爾時善財遙觀舍宅悉闍浮檀金色  
七寶為牆周匝迴繞琉璃莊嚴磑磑為柱敷  
赤真珠寶師子座建師子寶幢張琉璃寶帳  
如懸珠網羅覆其上阿僧祇寶而莊嚴之焉  
彌寶池八功德水盈滿其中一切寶樹周匝  
圍遶其宅廣六十重八門爾時善財見最下  
重設聚有勝應施一切見第二重施雜寶衣  
見第三重施意一切寶莊嚴具見第四重施  
內眷屬悉履善行巧於語言見第五重乃至

写経 杉岡華郁

此娑婆世界虛舍那如來應供等正覺所現  
自在力東方蓮華妙德世界賢首佛所顯現  
神力亦復如是如賢首佛所如是東方一切  
世界一切佛所顯現神力亦復如是如東方  
南西北方四維上下一切世界一切佛所顯  
現神力亦復如是於一切世界一切微塵一  
微塵中現自在力亦復如是爾時善財見  
普賢菩薩不可思議自在神力即得十不可  
壞智慧法門何等為十所謂於念念中能以  
一身徧一切利於念念中誦一切佛所於念  
念中恭敬供養一切諸佛於念念中一切佛  
所聞持正法得一切佛法輪智波羅蜜門得  
不思議佛自在智波羅蜜門得無盡辯智慧  
法門得般若波羅蜜觀諸法門得一切法界  
海大方便波羅蜜門得知一切眾生欲性皆

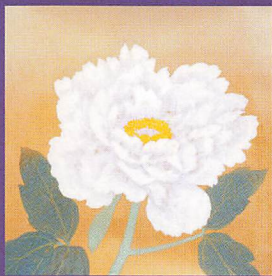
写経 村上三島

大方廣佛華嚴經卷第十五  
東晉天竺三藏佛跋闍羅譯

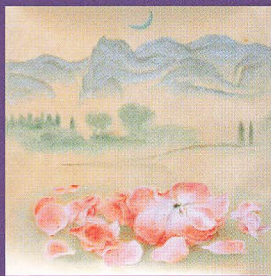
金剛陀菩薩十迴向品第二十一之二

佛子何等為菩薩摩訶薩第三等諸佛迴向  
此等菩薩摩訶薩隨順學過去未來現在諸佛  
迴向此菩薩修菩薩行時見好惡色其心消  
淨而無憎愛歡喜悅樂起無壞心離諸憂惱  
得正直心身意柔軟諸根清涼此菩薩得如  
是樂時迴向諸佛作如是念一切諸佛雖有  
無上淨妙快樂復願諸佛具不思議佛所住  
樂具足攝取不可稱量佛三昧樂成就無量  
大悲快樂具足成就不可計諸佛解脫樂具  
足攝取諸佛神足自在快樂無上尊重最妙  
快樂普覆如來常令具足諸佛無量力樂永  
離一切諸覺之樂無上寂靜不變易樂具足

写経 金子鶴亭



見返し絵 大山忠作



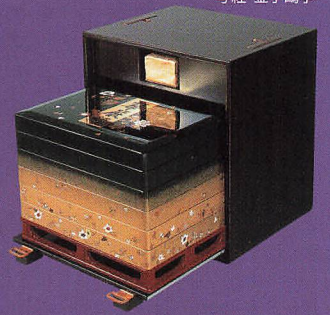
見返し絵 高山辰雄



見返し絵 奥村土牛



題簽 西川寧



経篋 松田権六・大場松魚

## 「日本の書展」特別展観

# 東大寺御宝・昭和大納経展

平成20年5月24日(土)～7月21日(月・祝)  
大倉集古館

開館時間 10:00～16:30 (入館は16:00まで、最終日は16:00閉館)

休館日 月曜日(但し6月16日と7月21日は開館)

主催 財団法人 全国書美術振興会／財団法人 大倉文化財団・大倉集古館／共同通信社／社団法人 日本書芸院

特別協力 華嚴宗大本山東大寺

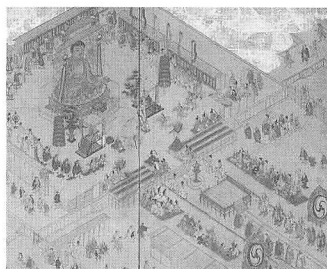
協力 株式会社 ホテルオークラ東京／大成建設株式会社

財団法人 大倉文化財団・大倉集古館  
OKURA MUSEUM OF ART  
〒105-0001 東京都港区虎ノ門2-10-3  
TEL03-3583-0781  
(ホテルオークラ東京本館正面玄関前)  
<http://www.hotelokura.co.jp/tokyo/>



昭和55年(1980)秋、奈良の東大寺大仏殿の昭和修理が落成し、落慶法要が盛大に執り行われ、「昭和大納経」(大方広華嚴経六十巻)が奉納されました。「華嚴経」は東大寺の根本經典ですが、天平の大仏開眼時の「六十巻本」はわずかに数巻が現存するに過ぎないため、この「昭和大納経」による全60巻の奉納は、約1200年ぶりの文化大事業でした。写経には当時を代表する521名の書家が参加し、題簽は西川寧、安東聖空、日比野五鳳、青山杉雨、金子鷗亭、村上三島の文化勲章受章者・文化功労者6名によって書かれました。また、東山魁夷、高山辰雄、大山忠作など、その半数近くが文化勲章受章者・文化功労者であるという日本画を中心とした69名の見返

し絵、更には、漆芸家・人間国宝の松田権六、大場松魚両氏による経篋(経巻を収める箱)が制作されております。このように、当時を代表する書家、画家、美術・工芸家が総力を挙げて取り組んだ「昭和の美の結晶」が、関係者の強い希望により再び公開されることになりました。奈良から江戸時代の經典や絵画などの東大寺寺宝とともに展示される本展を是非この機会にご鑑賞下さい。



大仏開眼・大仏殿落慶供養図(部分)  
(江戸時代・東大寺蔵)

## 「日本の書展」特別展観 東大寺御宝・昭和大納経展

平成20年5月24日(土)～7月21日(月・祝)

※月曜休館 但し、6月16日と7月21日は開館

開館時間：10:00～16:30 (入館は16:00まで、最終日は16:00閉館)

入館料：一般 1,000円

大学・高校生・65歳以上 800円

中学生以下 無料

(20名様以上の団体は100円引き)

土・日曜の高校生以下の児童・生徒

並びに同伴の両親・教師は無料

障害者並びに付き添い1名は無料

※ホテルオークラ東京とのセット鑑賞券  
(優待券との併用はできません。)

喫茶券 1,600円／食事券 3,200円

主催：財団法人 全国書美術振興会

財団法人 大倉文化財団・大倉集古館

共同通信社

社団法人 日本書芸院

特別協力：華嚴宗大本山東大寺

協力：株式会社 ホテルオークラ東京

大成建設株式会社



鎌倉時代再建瓦(鎌倉時代・東大寺蔵)

### 次回展示のお知らせ

館蔵品展 紙で語る—Paper Materials

8月1日(金)～10月12日(日)

紙は今から2000年近く前に中国で発明されて以来、文字を記したり、絵画を描くための支持体として、あるいは造形を容れづる材料として、人々の限らない活動の記憶を留めてきました。仏典や仏画は外来の宗教である仏教の教えを形あるものとして伝え、また印刷技術の発展は膨大な量の知識を広範にすることを可能とし

ました。そのほか、華麗に装飾された絵巻や草紙、かるたなどの遊びの道具類は日々を楽しませる娯楽の品として愛好されました。人々の生活の中で最も身近かつ手軽な素材として親しまれる紙が生み出した美術の諸相を、館蔵品と共に特種製紙株式会社・Pamより新たに寄託頂いた作品を中心に展覧いたします。

### 第36回「日本の書展」 各展入場無料

関西展 平成20年5月29日(木)～6月1日(日)  
大阪国際会議場(3階イベントホール)  
10:00～17:00 最終日は16:00閉館

中部展 ●第1会場 平成20年6月4日(水)～6月8日(日)  
愛知県美術館ギャラリー(愛知芸術文化センター8階)  
10:00～18:00 入館は17:30まで 最終日は16:00閉館  
※6日(金)は20:00閉館 入館は19:30まで

●第2会場 平成20年6月3日(火)～6月8日(日)  
名古屋市博物館(3階ギャラリー)  
9:30～17:00 入館は16:30まで 最終日は16:00閉館

東京展 平成20年6月12日(木)～6月22日(日)  
※17日(火)は休館日  
国立新美術館(展示室1A・1B・1C・1D)  
10:00～18:00 入館は17:30まで

九州展 平成20年7月1日(火)～7月6日(日)  
福岡県立美術館  
10:00～18:00 入館は17:30まで

### 「日本の書展」に関するお問い合わせ

財団法人 全国書美術振興会

〒107-0052 東京都港区赤坂2-11-1 宮原ビル6階

TEL 03-3568-2071 / FAX 03-3568-2072

ホームページ <http://shobi.or.jp/>



※大倉集古館～国立新美術館の移動は地下鉄かお車をご利用ください

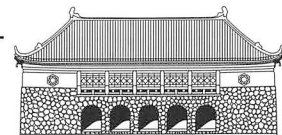
東京メトロ

日比谷線 神谷町駅4b出口より徒歩7分

銀座線・南北線 溜池山王駅13出口より徒歩8分

銀座線 虎ノ門駅3出口より徒歩10分

南北線 六本木一丁目駅泉ガーデンより徒歩5分



財団法人 大倉文化財団

大倉集古館

OKURA MUSEUM OF ART

〒105-0001 東京都港区虎ノ門2-10-3(ホテルオークラ東京本館正面玄関前)

TEL03-3583-0781

<http://www.hotelokura.co.jp/tokyo/>